

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年4月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800269
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 美楽居
所在地	鹿児島県出水市平和町347番地 (電話) 0996-63-8000
自己評価作成日	令和2年2月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年4月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人のグループホームであり老健保健施設、病院が併設していますので医療面での安心を頂いています。また法人で月1回の施設内研修の他に職員が選択できる外部研修への取り組みがあり職員は積極的に参加しています。現在介護福祉士の資格取得者は80%です。また職員は隣接する老健と共に立ちあげているリスクマネジメントや接遇・感染対策などの委員会に所属し、それぞれの委員会で活動してホームの質の向上に努めています。法人の理念である「個人の意向を十分に尊重し、尊厳ある日常生活の保持を目指す為良質なサービスを提供します」を実現するために施設長による目標が毎年定められて当グループホームでも具体的に実践計画を立てており、管理者は毎年職員の面談を実施する事で職員の意識を高めています。10年以上の勤務職員も多い事からチームワークも良く入居者のケアについてそれぞれが自分の意見を述べる事が出来ています。また役割を理解して安心して過ごして頂けるように寄り添いの気持ちを持って日々入居者様の生活を支援しています。ホームでは季節ごとの行事を大切に作り取り入れており、そば打ちの実践や巻きずしやおはぎなどを提供する事で喜びの声を頂いており、ご家族からも明るい雰囲気でお褒めの言葉を頂いている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体が医療法人で2ユニットのグループホームである。隣接して介護老人保健施設、医療機関が立地している。医療面では24時間医療連携体制が整っている。利用者が重度化の場合など、法人の医療機関、施設の選択肢が可能であり本人や家族の安心につながっている。
- ・地域との交流を大切にし、地域の文化祭や法人のイベントで地域住民と親しく交流している。中学生の職場体験学習の受入れや地域包括支援センターを中心にキャラバンメイト活動に参加している。
- ・法人の各種委員会への活動参加や内外の研修の受講等で職員は自己研鑽を図り、質の高い介護サービスに取り組んで家族から信頼されている。
- ・運営推進会議は家族の参加が多く、意見交換も活発で充実した会になっている。家族間の交流もあり参加して良かったと評価されている。オレンジカフェ等で地域の情報も発信している。
- ・職員の勤務年数が長く有資格者が多くチームワークが良く、利用者一人ひとりの意向を尊重し、尊厳ある生活が保持されるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼で理念を唱和し、毎年理念に向かい目標を作る事で実践・評価・反省を行っている	理念をホールや事務所に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝礼で唱和し意識づけしている。毎年、理念を基に目標を作成し、会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方の運営推進会議への参加の依頼、地域のイベントへの参加をする事で地域との繋がりを大切にしている	地域の文化祭に参加したり、法人の夏祭りに地域から参加がある。中学生の職場体験学習や託児所の子供達とのふれ合いもある。敬老会にはボランティアや園児も余興に参加して賑やかである。家族から野菜の差し入れもあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のキャラバンメイト活動に参加し、認知症への理解に向けた普及活動に協力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ご家族・消防署・市の職員・社会福祉協議会の職員・地域の方などを交えて意見を頂いている</p>	<p>2ヶ月毎に開催し、入居者の状況・行事・外部評価結果報告・インフルエンザ時の面会の対応・ヒヤリハットの事例等を報告し、意見交換している。家族間の話し合いもでき、理解が深まっている。職員への労いの言葉もあり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>認知症キャラバンメイトへの参加・運営推進会議への出席など協力関係を築いている</p>	<p>市担当者とは、運営推進会議や必要に応じて窓口に行き、相談や助言を得ている。キャラバンメイト活動のイベントにも参加している。市主催の研修会に積極的に出席し情報を得たり協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎年、身体拘束や高齢者虐待についての研修に参加し、理解する事でケアに生かしている</p>	<p>身体拘束委員会を毎月開催している。法人での年2回の研修会に参加している。言葉の拘束も含め禁句マナー集を作成して、具体的に曜日を決めて確認している。日中は玄関の施錠はしていない。外出したい時は職員と散歩したり、家族の協力を得ながら、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や講習会で学ぶ機会を持ち、毎日唱和する事でスピーチロックなど無いように努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度を利用されている利用者は現在までにいないが、管理者として研修等で学んでいる</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は家族の不安が解消できるように、納得できるまで説明の機会を持つように努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設向上委員会を中心に、利用者やご家族の思いを把握できるように傾聴を心掛け、頂いた意見はすぐに対応できるように話しあっている</p>	<p>利用者からは日常のケアの関わりの中で声かけしたり、表情等で把握に努めている。家族からは毎月の施設向上委員会を中心に意見や要望を把握している。家族の不安をなくすように、入・退院の説明等をしている。意見は気づきノートや申し送りノートに記録し話し合いを行い、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	個別に面接を行い、意見や提案を反映できるようにしている	個別に面接を行っている。積極的な意見が出され、家族間の話し合いの機会作りや外出支援・ケアに関する経験を活かせる場を等、職員の提案を運営に反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	面接時に業務に関する自己評価、管理者による評価を話し合い人事考課に繋げている		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	施設内研修の他に、職員が選択できる外部研修を受講しているまた介護福祉士や介護支援専門員の資格取得をサポートしている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	いずみ川薩支部グループホーム協議会で企画している研修・交流会等に参加しており、交流を通してサービスの向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	見守りを行い傾聴の姿勢で、思いを把握できるように努めている		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	面会時などゆっくり傾聴ができる時間を持ち、要望や困りごとの把握に努めている		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご家族本人はもとより、前施設や担当ケアマネ、主治医などからの情報収集に努めている		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	生活の中で共に食事、レクリエーションや散歩などの時間を作り家族的な空間作りに務めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話など会話を多く持つようになっている また行事など参加を呼びかけて共に過ごす場機会を作れるようになっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の文化祭の参加、馴染みの方が面会にきやすい雰囲気作りを心掛けている	知人や職場の同僚だった方の面会がある。面会の時はお茶を出している。地域の行事への参加や馴染みの店に行くこともあり、家族の協力を得ながら墓参・法事・外食等に出かけている。馴染みの人や場との関係が、途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格を把握し、安心できる関係作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	運営推進会議に参加して頂き、関係性の継続に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けや傾聴を行いながら、職員間で情報を交換し思いの把握に努めている	日常のケアの中で声かけや表情等で得た情報を申し送り時に報告し、思いを把握している。困難な場合は家族に相談したり、関係職員で話し合い本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や前施設、ケアマネ等からの情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員で状態観察を行い情報の共有を行い現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当を決める事でアセスメントからケアプランの原案を作成、計画作成者と共にプランを作成している カンファレンスに家族、理学療法士、主治医等出席し話し合いを行っている	担当職員が本人や家族の意向を聞き、主治医や理学療法士の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で、見直しは1年毎に行い、その時の状況に合わせて、介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過記録を毎日記入し、3か月ごとのモニタリングを実施する事で職員間で情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や散髪などの付き添い、家族との会話等の支援を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	11月のレクリエーションのイベントに利用者の方が参加し大変楽しまれていた		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医との連絡を常に取れるようにしている 希望の病院へも速やかに受診ができるようにソーシャルワーカーと連携し支援をしている	母体医療機関が主治医で、月1度の往診である。歯科は必要時に往診。他科受診は、その時の状況で職員や家族が同行している。24時間医療連携が整い適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を契約している病院と常に連絡が取れる体勢であり、相談や報告を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の情報提供、退院後の情報収集をソーシャルワーカーと連携に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の指針を契約時に説明を行っている 主治医を交えてターミナルやリスクに関する確認を行い書面で承諾を得ている</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に施設長から家族に説明している。状況変化に伴い主治医を交えて、特別養護老人ホームか医療機関の選択肢を紹介、ターミナルケアについても、家族の意向を書面で把握し支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを作成、張り出している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>連絡網の作成、年2回の避難訓練を行っている 台風や地震に備え老健などと協力体制を強化していきたいと考えている</p>	<p>避難訓練を年2回昼夜想定で、消防署指導の下で実施している。緊急連絡網は毎年更新し、避難場所・避難経路の確認もしている。防災設備は業者が定期的に点検している。運営推進会議委員や家族も参加して、心肺蘇生法の手順を指導受けている。備蓄は米・水等を法人で用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導やオムツ交換等の声掛けを行う時は他者の前で行わない等の配慮を徹底している	マニュアルを作成し、定期的に研修会を行っている。排泄や入浴介助は同性介助で支援している。職員間の話は利用者に聞こえないように、書類の保管にも個人情報が漏れないように事務所に保管している。誇りやプライバシーを損ねない配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の表情やしぐさに応じた声掛けや、入浴の曜日を決めるのではなく本人が決定できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた支援を第一に考えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝の整容の時間は鏡をみてもらう 着替えは自分で選んでもらうか一緒に選ぶ 散髪の援助、爪切りや髭剃り等支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の挨拶、テーブル拭き、食器の片付けなど分担してもらい役割を作っている	嗜好やアレルギー調査を行っている。食事形態も、とろみ食・きざみ食・おかゆと配慮している。そば打ちもしている。誕生日会・ひな祭り・おせち料理・祭日は楽しみな献立になっている。外食も計画している。テーブル拭きや下膳等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態、好みの食事や栄養バランスをその方に合わせて提供している。カロリー計算をして栄養バランスを考えて献立を立てている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの支援を行い、毎月歯科衛生士から助言をもらっている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の能力に合わせて誘導を行っている	できないところを手助けしてできるだけトイレでの排泄を支援している。排泄記録を参考にして支援している。夜はポータブルトイレやパット使用している。オムツからトイレ誘導に改善した事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の確認を行い、体調や食事量の観察、適度な運動を促しながら必要に応じて下剤の服用で便秘に対応している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の気分や時間等、その方に合わせて支援の方法を工夫している	体調や気分に合わせて、毎日でも入浴できる。足浴や清拭も対応している。入浴後は保湿剤を使用している。季節に応じて柚子湯やボンタン湯で楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動的に過ごせるようにレクリエーション等取り入れて安眠に繋がるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その方の既往歴、内服内容を把握し、服薬支援や体調不良による変化にすぐに気付けるように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に合わせてドライブや家事手伝い、季節ごとの行事で役割を作れるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族と協力して外出の機会を作り、お花見などのドライブを計画している</p>	<p>天候の良い日は外気浴や散歩を楽しんでいる。計画を立てて初詣・季節の花見・マラソン見物・文化祭・案山子祭り・鶴見物等に出かけている。老人保健施設との合同イベントにも行き、家族の参加で敬老会・運動会・外食等へ行き、遠方にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の了解のもと、ご家族と協力してお金を預かり買い物の支援を行っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方のご家族への電話やお手紙の支援を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	車いすや歩行器で移動しやすい空間とバリアフリーの環境で、不快なおいや音に配慮して、季節ごとの掲示物や中庭の花壇作りをしている	共用空間は、中庭からの採光で明るく温度・湿度の空調管理を行い空気の流れがある。掃出し窓から庭に出て、花や緑とふれあうことができる。壁に大きな鯉のぼりが貼ってある。ソファもあり、入居者同志の席の配慮に気配りし、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや部屋の間取りは余裕があり、ご家族や利用者間で交流の場面を作っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や花などご家族と協力してもらい安心して過ごせるように支援している	エアコン・タンス・ベッド・ソファ・洗面台が設置している。家から持ち込んだ家族写真・曆・時計・ぬいぐるみ・毛布・遺影・鏡・化粧品等が置いている。我家の部屋と同じように過ごせるように居心地よい配慮がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりやバリアフリー、車椅子でも出入りできるトイレの広さがありその方の身体機能に合わせて安全を確保している		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない